

『改訂第2版 腫瘍循環器診療ハンドブック』

正誤表

『改訂第2版 腫瘍循環器診療ハンドブック』（2025年11月1日 第1刷）におきまして、下記の誤りがございました。ここに深くお詫び申し上げますとともに、訂正申し上げます。

(2025年11月5日 メジカルビュー社編集部)

	誤	正
p.38 本文左段 見出し	ブルトン型チロシンキナーゼ（BTK）阻害薬と免疫関連有害事象（irAE）	ブルトン型チロシンキナーゼ（BTK）阻害薬と心血管有害事象
p.38 本文左段 4～6行目	BTK阻害薬の免疫関連有害事象（irAE）は心血管系、消化器系、皮膚、関節などの臓器に生じ、このために治療中断となることがある ¹⁾ 。	BTK阻害薬の投与により高血圧、心房細動、心室不整脈、心不全、出血などの心血管有害事象を生じることがあり、そのために治療中断となることがある ¹⁾ 。